

## 令和 4 年度の介護職員処遇改善加算及び介護職員等特定処遇改善加算の取り組みについて

弊社では、今年度も介護職員処遇改善加算は、加算（Ⅰ）、介護職員等特定処遇改善加算につきましては、加算（Ⅱ）を計画し申請しております。  
具体的な取り組み内容は、下記のとおりとなります。

### キャリアパス要件について

#### 要件Ⅰ

- ・介護職員の任用における職位、職責又は職務内容等の要件を定めている。
- ・職位、職責又は職務内容に応じた賃金体系を定めている。
- ・就業規則等の明確な根拠規定を書面で整備し、全ての職員に周知している。

#### 要件Ⅱ

- ・介護職員の職務内容等を踏まえ、介護職員と意見交換しながら、資質向上の目標及び①、②に関する計画を策定し研修の実施又は研修の機会を確保している。
- ① 資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導者等を実施するとともに、介護職員の能力評価を行う。

[具体的な取り組み内容]

新入社員の接遇マナー講習への参加、研修報告書の作成及び会議、部署ミーティングの場における発表。

- ② 資格取得のための支援の実施

[具体的な取り組み内容]

研修費（受講料）の援助、受講のための勤務シフトの調整、教材の購入

- ・①と②について全ての職員に周知している。

#### 要件Ⅲ

- ・介護職員について、経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組みを設けている。

[具体的な取り組み内容]

「介護福祉士」や「実務者研修修了者」などの取得に応じて昇給する仕組みを指す。ただし、介護福祉士資格を有して就業する者についても昇給が図られる仕組みであることを要する。

## 職場環境要件について

### ①入職促進に向けた取組

- ・他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築
- ・職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施

### ②資質の向上やキャリアアップに向けた支援

- ・働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等

### ③両立支援・多様な働き方の推進

- ・職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備

### ④腰痛を含む心身の健康管理

- ・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介

### ⑤護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施

- ・雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施

### ⑥生産性向上のための業務改善の取組

- ・タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減
- ・高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供）等による役割分担の明確化

### ⑦やりがい・働きがいの醸成

- ・ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善
- ・地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施
- ・ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供